

# 新生お茶の水女子大学

## 2008年度からスタートします

### 教養教育からリベラルアーツへ

平成20年度（2008年4月）から、従来の教養教育を改革し、21世紀型リベラルアーツを始動します。

お茶の水女子大学は、すべての女性の真摯な夢の実現される場であること、教養知と専門知、学術知と実践知を兼ね備えた女性が、21世紀に羽ばたくことを大学の目標として掲げています。

社会人としての基礎力とともに、知的な自由さをもった女性。それを創るのが、リベラルアーツです。

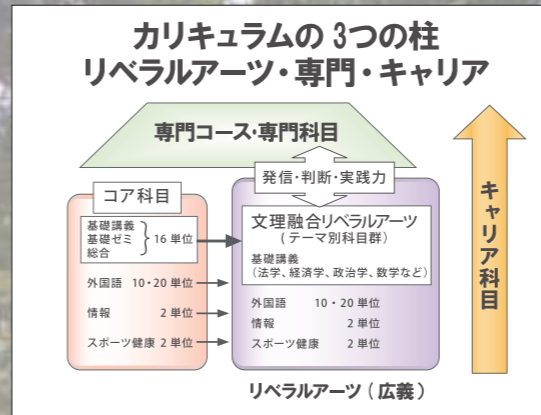
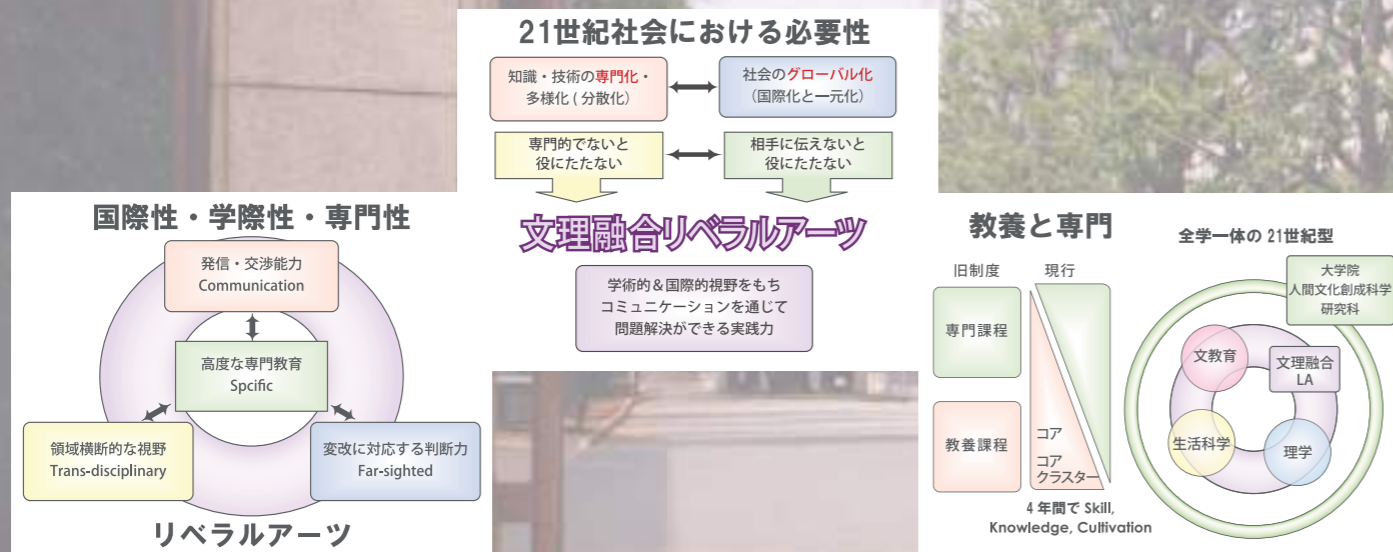
### お茶大から世界に発信する21世紀型リベラルアーツ

21世紀は、知識や技術の専門化・多様化と社会のグローバル化が平行して進んでいます。そこでは、私たちが学ぶ知識は、専門的でないと役にたちませんし、同時に国や文化が違う相手にも伝える必要があります。

これまで大学では、専門教育の前段階として、教養教育を行ってきました。現代は、高度な専門教育を支えこれを使いこなすために、発信・交渉能

力、領域横断的な視野、変化に対応する判断力を養う必要があります。

知識そのものの基礎であり、生涯をとおして、自在に（リベラル）つかえる技（アーツ）を学ぶことが、「21世紀型リベラルアーツ」の目的です。



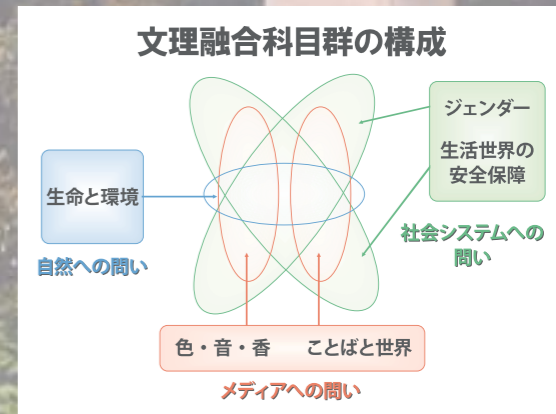
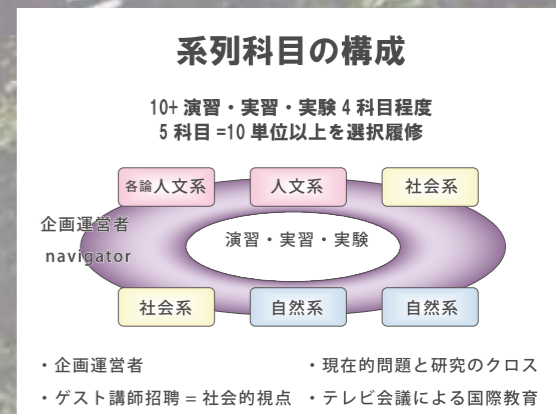
事象を科学の眼で見つめ直すこと、歴史（成り立ち）から理解すること、表現の意味を考えること。それらは相互に結びついて、わたしたちのものの考え方に新しい光を投げかけてくれます。その知的発見の積み重ねは、女性がライフサイクルのさまざまな場面で遭遇する困難を突破する力を与えてくれます。ひとりひとりが生涯にわたって生き生きと生きていくための「お茶大リベラルアーツ」の誕生です。

文理融合リベラルアーツの科目群は、現行のコア科目（基礎講義・基礎ゼミ）、全学共通科目のコア・クラスターを発展させたものです。20年度以降の新入生だけではなく、在生も履修できます。

### 現代世界の鍵となる5つのテーマ

新プログラム「文理融合型リベラルアーツ」では、文系理系にまたがる5つのテーマ（生活世界の安全保障、色・音・香、生命と環境、ことばと世界、ジェンダー）にそって、講義・討論・発表・実験実習・演習を組み合わせた系列科目群をつくり、自然・人文・社会の3つの角度から多面的に学びます。演習・実験・実習を通して、読み・聞き・書き・語り・作るという5つの能力を養成します。演習では、テーマに関連するテキスト（書物や論文）を読み、発表・討論し、レポートを書くことで、読解力や表現力を高めます。「生命と環境」や「色・音・香」では、海の生物を採集し観察する実験や色や香りを分析する実験を行うことで、自然の仕組みを体感します。「生活世界の安全保障」では、NPOでのインターンシップなどを通して、実践力を養成します。

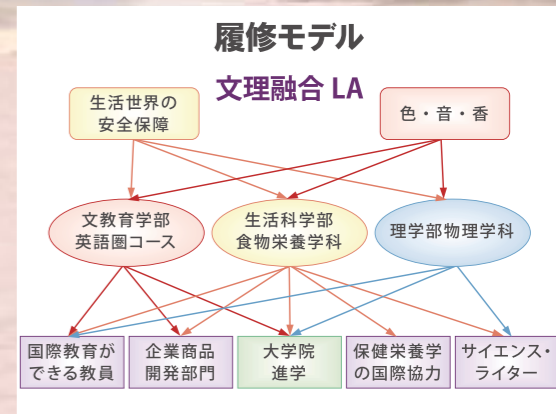
いずれも21世紀の世界の鍵となるテーマです。どの系列でも文理双方から問題を問いかけ、ここを「切り口」として知識と経験を広げ、主題を根源から理解します。学生は、いずれかのひとつのテーマ（系列）を選び、学びます。20年度は、「生命と環境」「生活世界の安全保障」「色・音・香」の3つの系列がスタートします。



- 文系理系にまたがる5つのテーマ
- ・生活世界の安全保障（平成20年度開講）
  - ・色・音・香（平成20年度開講）
  - ・生命と環境（平成20年度開講）
  - ・ことばと世界（平成21年度開講）
  - ・ジェンダー（平成21年度開講）
- にそって、講義・討論・発表・実験実習・演習を組み合わせた系列科目群をつくり、自然・人文・社会の3つの角度から多面的に学びます。

### 専門力を生かした多様な進路を切り拓く

このような教育プログラムは、ひとつのキャンパスに人文科学、社会科学、自然科学の3つの系列の教員が集うお茶の水女子大学だからこそ、可能なのです。大学1～2年生の段階で「文理融合リベラルアーツ」によって学際的で実践的な力をつけることによって、専門力を生かした多様な進路が切り拓かれます。



### 文理を融合した学びを

わたしたちを取り巻く世界は、自然であれ技術であれ社会であれ、さまざまな要素が複雑に絡みあっています。大学では、専門的な学術というナイフで、複雑な現象を解析することを学びます。しかし、全体を展望するには領域を横断した知識が必要になっています。文系の人間にも科学技術の理解が、理系の人にも人文社会の理解が不可欠になっています。文理融合リベラルアーツを学ぶことによって、教養教育（リベラルアーツ）の科目と専門の科目との間に連関が生まれ、領域を横断した視野が獲得されます。

